

(再評価)

資料 3 - 4 - ②  
関東地方整備局  
事業評価監視委員会  
(平成23年度第1回)

# 一般国道50号 結城バイパス

平成23年7月21日  
国土交通省 関東地方整備局

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道50号	結城バイパス	L=7.7km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,500~36,700	4	関東地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	252億円	104億円	356億円
うち残事業分	14億円	19億円	33億円
基準年における 現在価値 (C)	475億円	31億円	507億円
うち残事業分	10億円	5.7億円	16億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	86億円	4.6億円	0.47億円	91億円
基準年における 現在価値 (B)	1,199億円	65億円	6.5億円	1,270億円
うち残事業分	369億円	22億円	13億円	404億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.5
経済的純現在価値（事業全体）	764億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.2%
費用便益比（残事業）	25.0
経済的純現在価値（残事業）	388億円
経済的内部収益率（残事業）	54.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	20,500～36,700 （台/日）	±10%	2.3～2.7
事業費	252億円	±10%	2.5
事業期間	42年	±2年	2.3～2.7

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	20,500～36,700 （台/日）	±10%	21.7～28.3
事業費	14億円	±10%	22.7～27.7
事業期間	9年	±2年	22.0～26.1

交通状況の変化

事業名：結城バイパス

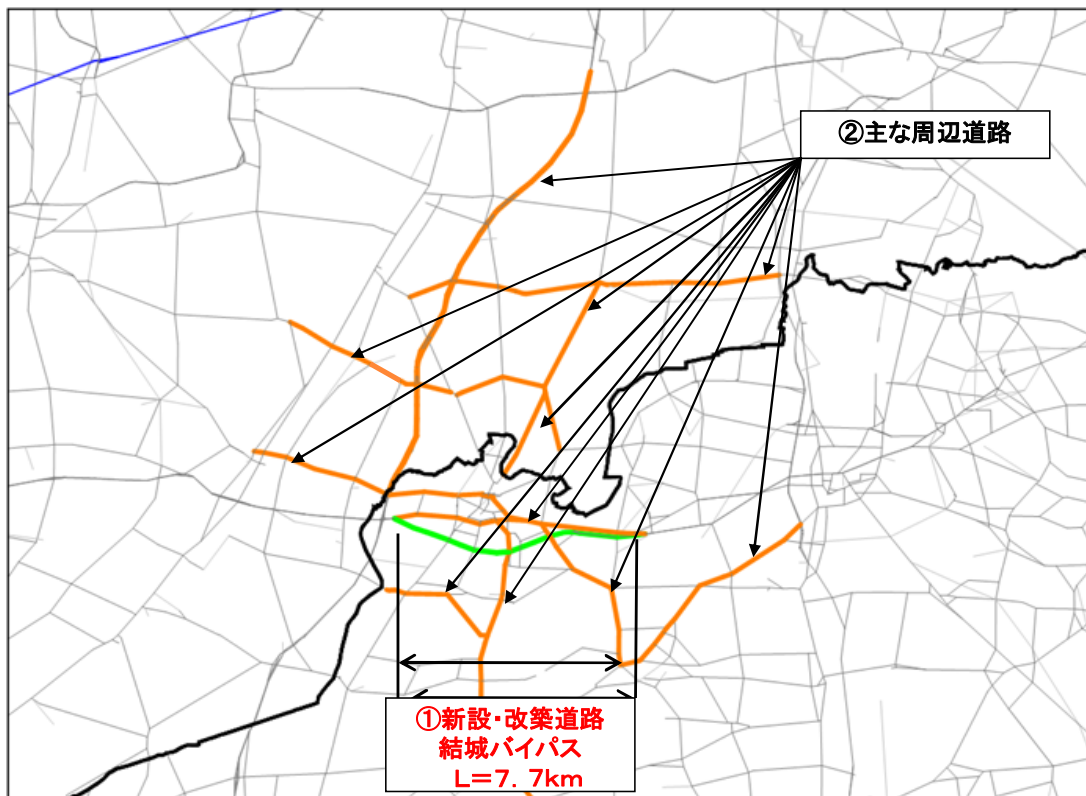
(事業全体)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路:7.7km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	-	27,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	-	9	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	-	45.65	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	現道(国道50号):7.1km	交通量	[台/日]	15,400	9,300
		走行時間	[分]	11	9
		走行時間費用	[億円/年]	34.70	16.60
	(主)結城坂東線:10.6km	交通量	[台/日]	13,300	12,300
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	47.87	43.19
	(県)矢畑横倉新田線:4.1km	交通量	[台/日]	9,700	9,900
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	11.61	11.31
	(主)栃木二宮線:10.9km	交通量	[台/日]	3,300	2,500
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	10.31	7.47
	(一)小山結城線:8.4km	交通量	[台/日]	9,300	8,800
		走行時間	[分]	19	17
		走行時間費用	[億円/年]	30.05	25.78
	結城下妻線:5.8km	交通量	[台/日]	12,400	10,400
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	20.57	15.73
	下館三和線:7.3km	交通量	[台/日]	9,900	8,700
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	19.00	15.44
	国道4号:16.0km	交通量	[台/日]	74,200	71,800
		走行時間	[分]	18	17
		走行時間費用	[億円/年]	253.97	240.91
小山環状線:2.7km	交通量	[台/日]	18,400	18,400	
	走行時間	[分]	9	9	
	走行時間費用	[億円/年]	38.39	36.11	
宇都宮結城線:7.6km	交通量	[台/日]	6,500	1,800	
	走行時間	[分]	9	9	
	走行時間費用	[億円/年]	12.08	3.10	
福良羽川線:5.4km	交通量	[台/日]	4,000	2,400	
	走行時間	[分]	18	18	
	走行時間費用	[億円/年]	13.55	9.24	
③その他道路合計:1851.7km	走行時間費用	[億円/年]	3,654.21	3,592.08	
			走行時間費用整備なし(A)	走行時間費用整備あり(B)	走行時間短縮便益(A-B)
合計:1945.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,146.31	4,062.61	83.70

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示



交通状況の変化

事業名：結城バイパス

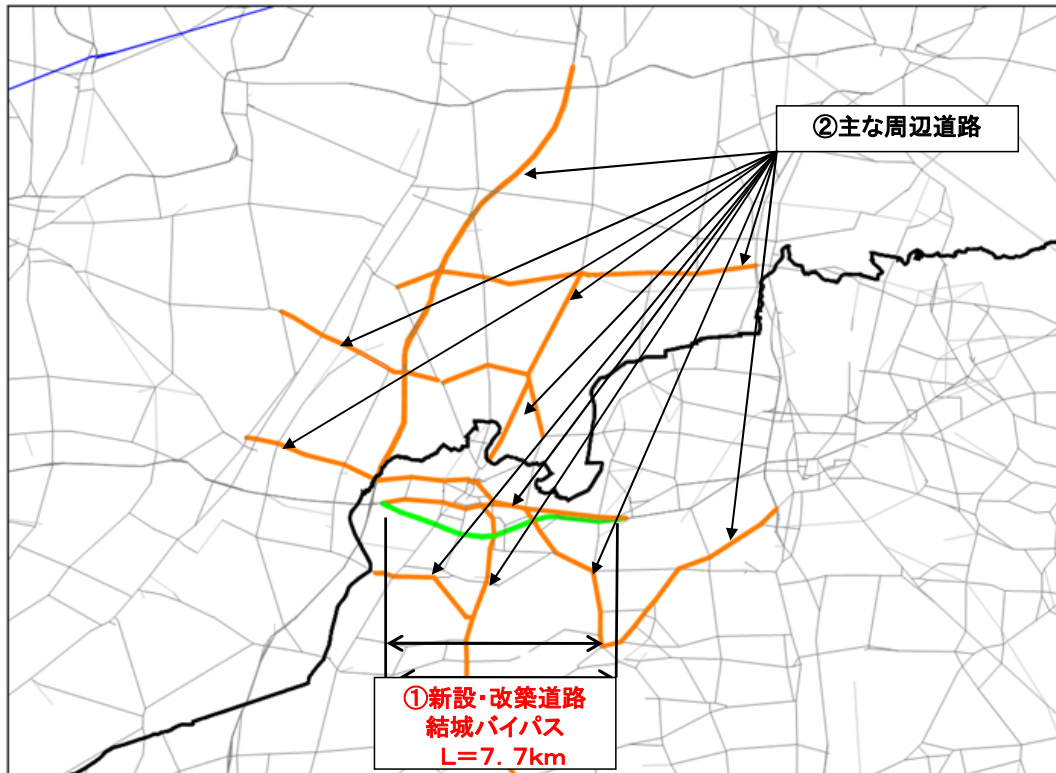
(残事業)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路:7.7km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	21,000	27,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	10	9	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	39.88	45.65	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	現道(国道50号):7.1km	交通量	[台/日]	11,700	9,300
		走行時間	[分]	10	9
		走行時間費用	[億円/年]	21.82	16.60
	(主)結城坂東線:10.6km	交通量	[台/日]	12,600	12,300
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	44.67	43.19
	(県)矢畑横倉新田線:4.1km	交通量	[台/日]	9,800	9,900
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	11.26	11.31
	(主)栃木二宮線:10.9km	交通量	[台/日]	2,600	2,500
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	7.82	7.47
	(一)小山結城線:8.4km	交通量	[台/日]	8,600	8,800
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	25.48	25.78
	結城下妻線:5.8km	交通量	[台/日]	10,900	10,400
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	17.22	15.73
	下館三和線:7.3km	交通量	[台/日]	9,100	8,700
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	16.52	15.44
	国道4号:16.0km	交通量	[台/日]	71,700	71,800
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	240.99	240.91
	小山環状線:2.7km	交通量	[台/日]	18,300	18,400
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	36.41	36.11
宇都宮結城線:7.6km	交通量	[台/日]	1,900	1,800	
	走行時間	[分]	9	9	
	走行時間費用	[億円/年]	3.22	3.10	
福良羽川線:5.4km	交通量	[台/日]	2,700	2,400	
	走行時間	[分]	18	18	
	走行時間費用	[億円/年]	10.01	9.24	
③その他道路合計:1851.7km	走行時間費用	[億円/年]	3,613.12	3,592.08	
			走行時間費用整備なし(A)	走行時間費用整備あり(B)	走行時間短縮便益(A-B)
合計:1945.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,088.42	4,062.61	25.81

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示



# 費用便益分析の条件

事業名: 結城バイパス

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他	<input type="checkbox"/>		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成23年度		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
		その他( )	<input type="checkbox"/>	
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
		有	<input type="checkbox"/>	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日	
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
		転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
		簡易手法	<input type="checkbox"/>	
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
			山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他( )				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>		
	採用理由を記載			
その他( )		<input type="checkbox"/>		



(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		関東内陸ブロックにおける既存路線の実績を参考に設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.283	7.7	2.18	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-42年目	S 54	3.5081	81.3	0.35	1.36		
-41年目	S 55	3.3731	86.4	1.32	4.64		
-40年目	S 56	3.2434	88.6	3.95	13.01		
-39年目	S 57	3.1187	89.6	15.50	48.55		
-38年目	S 58	2.9987	90.5	22.06	65.79		
-37年目	S 59	2.8834	92.3	12.95	36.41		
-36年目	S 60	2.7725	93.0	13.21	35.44		
-35年目	S 61	2.6658	94.6	2.91	7.38		
-34年目	S 62	2.5633	94.4	3.75	9.16		
-33年目	S 63	2.4647	94.9	0.20	0.47		
-32年目	H 1	2.3699	97.4	2.27	4.97		
-31年目	H 2	2.2788	99.6	2.46	5.07		
-30年目	H 3	2.1911	102.0	1.77	3.42		
-29年目	H 4	2.1068	103.4	7.76	14.23		
-28年目	H 5	2.0258	103.7	12.28	21.59		
-27年目	H 6	1.9479	103.6	9.48	16.04		
-26年目	H 7	1.8730	103.0	17.20	28.15		
-25年目	H 8	1.8009	102.4	23.06	36.50		
-24年目	H 9	1.7317	103.4	23.49	35.41		
-23年目	H 10	1.6651	102.8	10.14	14.78		
-22年目	H 11	1.6010	101.3	10.18	14.48		
-21年目	H 12	1.5395	99.7	14.53	20.19		
-20年目	H 13	1.4802	98.4	6.94	9.40		
-19年目	H 14	1.4233	96.6	8.95	11.87		
-18年目	H 15	1.3686	95.4	0.90	1.16		
-17年目	H 16	1.3159	94.4	4.80	6.02		
-16年目	H 17	1.2653	93.2	4.14	5.06		
-15年目	H 18	1.2167	92.5	0.11	0.13		
-14年目	H 19	1.1699	91.7	0.05	0.06		
-13年目	H 20	1.1249	91.2	0.11	0.12		
-12年目	H 21	1.0816	90.0	0.41	0.44		
-11年目	H 22	1.0400	90.0	0.71	0.74		
-10年目	H 23	1.0000	90.0	0.20	0.20		
-9年目	H 24	0.9615	90.0	0.48	0.46		
-8年目	H 25	0.9246	90.0	0.10	0.09		
-7年目	H 26	0.8890	90.0	0.10	0.09		
-6年目	H 27	0.8548	90.0	0.54	0.46		
-5年目	H 28	0.8219	90.0	1.07	0.88		
-4年目	H 29	0.7903	90.0	1.91	1.51		
-3年目	H 30	0.7599	90.0	2.86	2.17		
-2年目	H 31	0.7307	90.0	3.81	2.78		
-1年目	H 32	0.7026	90.0	2.90	2.04		
供用開始年次	H 33	0.6756	90.0			2.08	1.40
1年目	H 34	0.6496	90.0			2.08	1.35
2年目	H 35	0.6246	90.0			2.08	1.30
3年目	H 36	0.6006	90.0			2.08	1.25
4年目	H 37	0.5775	90.0			2.08	1.20
5年目	H 38	0.5553	90.0			2.08	1.15
6年目	H 39	0.5339	90.0			2.08	1.11
7年目	H 40	0.5134	90.0			2.08	1.07
8年目	H 41	0.4936	90.0			2.08	1.02
9年目	H 42	0.4746	90.0			2.08	0.99
10年目	H 43	0.4564	90.0			2.08	0.95
11年目	H 44	0.4388	90.0			2.08	0.91
12年目	H 45	0.4220	90.0			2.08	0.88
13年目	H 46	0.4057	90.0			2.08	0.84
14年目	H 47	0.3901	90.0			2.08	0.81
15年目	H 48	0.3751	90.0			2.08	0.78
16年目	H 49	0.3607	90.0			2.08	0.75
17年目	H 50	0.3468	90.0			2.08	0.72
18年目	H 51	0.3335	90.0			2.08	0.69
19年目	H 52	0.3207	90.0			2.08	0.67
20年目	H 53	0.3083	90.0			2.08	0.64
21年目	H 54	0.2965	90.0			2.08	0.62
22年目	H 55	0.2851	90.0			2.08	0.59
23年目	H 56	0.2741	90.0			2.08	0.57
24年目	H 57	0.2636	90.0			2.08	0.55
25年目	H 58	0.2534	90.0			2.08	0.53
26年目	H 59	0.2437	90.0			2.08	0.51
27年目	H 60	0.2343	90.0			2.08	0.49
28年目	H 61	0.2253	90.0			2.08	0.47
29年目	H 62	0.2166	90.0			2.08	0.45
30年目	H 63	0.2083	90.0			2.08	0.43
31年目	H 64	0.2003	90.0			2.08	0.42
32年目	H 65	0.1926	90.0			2.08	0.40
33年目	H 66	0.1852	90.0			2.08	0.38
34年目	H 67	0.1780	90.0			2.08	0.37
35年目	H 68	0.1712	90.0			2.08	0.36
36年目	H 69	0.1646	90.0			2.08	0.34
37年目	H 70	0.1583	90.0			2.08	0.33
38年目	H 71	0.1522	90.0			2.08	0.32
39年目	H 72	0.1463	90.0			2.08	0.30
40年目	H 73	0.1407	90.0			2.08	0.29
41年目	H 74	0.1353	90.0			2.08	0.28
42年目	H 75	0.1301	90.0			2.08	0.27
43年目	H 76	0.1251	90.0			2.08	0.26
44年目	H 77	0.1203	90.0			2.08	0.25
45年目	H 78	0.1157	90.0			2.08	0.24
46年目	H 79	0.1112	90.0			2.08	0.23
47年目	H 80	0.1069	90.0			2.08	0.22
48年目	H 81	0.1028	90.0			2.08	0.21
49年目	H 82	0.0989	90.0	-75.34	-7.45	2.08	0.21
合計				176.57	475.29	103.81	31.34
単純事業費計				251.91		103.81	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

# 費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名:結城バイパス (残事業)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.142	2.8	0.40	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-9年目	H 24	0.9615	90.0	0.48	0.46		
-8年目	H 25	0.9246	90.0	0.10	0.09		
-7年目	H 26	0.8890	90.0	0.10	0.09		
-6年目	H 27	0.8548	90.0	0.54	0.46		
-5年目	H 28	0.8219	90.0	1.07	0.88		
-4年目	H 29	0.7903	90.0	1.91	1.51		
-3年目	H 30	0.7599	90.0	2.86	2.17		
-2年目	H 31	0.7307	90.0	3.81	2.78		
-1年目	H 32	0.7026	90.0	2.90	2.04		
供用開始年次	H 33	0.6756	90.0			0.38	0.26
1年目	H 34	0.6496	90.0			0.38	0.25
2年目	H 35	0.6246	90.0			0.38	0.24
3年目	H 36	0.6006	90.0			0.38	0.23
4年目	H 37	0.5775	90.0			0.38	0.22
5年目	H 38	0.5553	90.0			0.38	0.21
6年目	H 39	0.5339	90.0			0.38	0.20
7年目	H 40	0.5134	90.0			0.38	0.19
8年目	H 41	0.4936	90.0			0.38	0.19
9年目	H 42	0.4746	90.0			0.38	0.18
10年目	H 43	0.4564	90.0			0.38	0.17
11年目	H 44	0.4388	90.0			0.38	0.17
12年目	H 45	0.4220	90.0			0.38	0.16
13年目	H 46	0.4057	90.0			0.38	0.15
14年目	H 47	0.3901	90.0			0.38	0.15
15年目	H 48	0.3751	90.0			0.38	0.14
16年目	H 49	0.3607	90.0			0.38	0.14
17年目	H 50	0.3468	90.0			0.38	0.13
18年目	H 51	0.3335	90.0			0.38	0.13
19年目	H 52	0.3207	90.0			0.38	0.12
20年目	H 53	0.3083	90.0			0.38	0.12
21年目	H 54	0.2965	90.0			0.38	0.11
22年目	H 55	0.2851	90.0			0.38	0.11
23年目	H 56	0.2741	90.0			0.38	0.10
24年目	H 57	0.2636	90.0			0.38	0.10
25年目	H 58	0.2534	90.0			0.38	0.10
26年目	H 59	0.2437	90.0			0.38	0.09
27年目	H 60	0.2343	90.0			0.38	0.09
28年目	H 61	0.2253	90.0			0.38	0.09
29年目	H 62	0.2166	90.0			0.38	0.08
30年目	H 63	0.2083	90.0			0.38	0.08
31年目	H 64	0.2003	90.0			0.38	0.08
32年目	H 65	0.1926	90.0			0.38	0.07
33年目	H 66	0.1852	90.0			0.38	0.07
34年目	H 67	0.1780	90.0			0.38	0.07
35年目	H 68	0.1712	90.0			0.38	0.06
36年目	H 69	0.1646	90.0			0.38	0.06
37年目	H 70	0.1583	90.0			0.38	0.06
38年目	H 71	0.1522	90.0			0.38	0.06
39年目	H 72	0.1463	90.0			0.38	0.06
40年目	H 73	0.1407	90.0			0.38	0.05
41年目	H 74	0.1353	90.0			0.38	0.05
42年目	H 75	0.1301	90.0			0.38	0.05
43年目	H 76	0.1251	90.0			0.38	0.05
44年目	H 77	0.1203	90.0			0.38	0.05
45年目	H 78	0.1157	90.0			0.38	0.04
46年目	H 79	0.1112	90.0			0.38	0.04
47年目	H 80	0.1069	90.0			0.38	0.04
48年目	H 81	0.1028	90.0			0.38	0.04
49年目	H 82	0.0989	90.0			0.38	0.04
合計				13.77	10.49	18.87	5.70
単純事業費計				13.77		18.87	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道50号	結城バイパス	4	7.7km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				10,887	
	改良費				4,839	
		土工	m3	162,360	166	切土工(85,200m3)、盛土(72,400m3)、捨土工(4,760m3)
		軟弱地盤改良工	m3	123,640	2,846	
		法面工	m2	4,950	14	切土法面(張芝(770m2))、盛土法面(筋芝(4,180m2))
		擁壁工	式	1	136	重力式擁壁1式、L型擁壁1式、ブロック積擁壁1式
		管渠工	m	5,054	225	
		函渠工	m			
		排水工	m	10,550	360	集水柵工1式
		中央分離帯工	m	4,860	92	
		雑工	式	1	1,000	横断Box(2基)、横断歩道橋(2基)
	橋梁費				3,175	
		100m以上	m	784.7	2,994	
		100m未満	m	47.4	181	
	トンネル費				0	
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				2,354	
		車道舗装	m2	137,352	2,190	
		歩道舗装	m2	53,900	164	
	附帯施設費				519	
		交通管理施設工	式	1	519	視線誘導標1式、通信管路工1式、標識工1式、防護柵工1式、道路照明1式
		遮音壁	m			
②	用地及補償費		式	1	11,079	
	用地費		m2	231,000	7,534	
		民地	m2	231,000	7,534	
			m2			
			m2			
	補償費		式	1	3,545	
③	間接経費		式	1	3,734	調査設計費及び予備費(業務取扱費含む)
	全体事業費		式	1	25,700	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道50号	結城バイパス	4	7.7km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				1,312	
	改良費				101	
		土工	m3	2,400	6	切土工(1,260m3)、盛土(1,140m3)
		軟弱地盤改良工	m3	3,000	18	
		法面工	m2	400	3	
		擁壁工	式	1	3	重力式擁壁1式
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	1,627	67	集水柵工含む1式
		中央分離帯工	m	390	4	
		雑工	式			
	橋梁費				925	
		100m以上	m	441.0	925	
		100m未満	式			
	トンネル費				0	
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				286	
		車道舗装	m2	23,100	256	
		歩道舗装	m2	9,800	30	
	附帯施設費				0	
		交通管理施設工	式			
		遮音壁	m			
②	用地及補償費		式		0	
	用地費		m2			
		民地	m2			
			m2			
			m2			
			m2			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	131	調査設計費及び予備費(業務取扱費含む)
	全体事業費		式	1	1,443	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用



路線名	箇所名	車線数	延長
国道50号	結城バイパス	4	7.7km

■維持管理費内訳

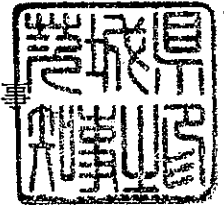
区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	7.7	38	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	180	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			218	



監 第 328 号  
平成23年 7月12日

国土交通省 関東地方整備局長 殿

茨 城 県 知 事



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る  
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成23年6月30日付け国関整企画第153号により依頼のありました  
標記のことにつきまして、別紙のとおり回答いたします。

(再評価)

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	茨城県知事の意見
一般国道50号 結城バイパス	継続	一般国道50号結城バイパスは、結城市街地の交通渋滞の緩和、安全性の確保が図られるとともに、国道4号や北関東自動車道桜川筑西ICまでのアクセス性が向上し、物流機能の強化や地域産業の活性化に寄与することから、より一層のコスト縮減を図りながら、早期整備をお願いします。

## 【公園事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	茨城県知事の意見
国営常陸海浜公園	継続	国営常陸海浜公園は、ひたちなか地区を中心に進めている国際港湾公園都市構想の中核施設であり、県央・県北振興にも資する基幹施設としての発展が期待されていることから、国営公園整備事業の継続と未開園区域の早期整備をお願いします。

※貴都の意見を踏まえ、関東地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。